

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 清泉 ）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	○基礎基本の復習を繰り返し行っていることから平成29年度は国語・算数のA問題では県平均点を超えたいと考えている。また、国語・算数Bについては授業の中で考えをまとめる活動を多く取り入れていくことで前年度の本校平均点を超えたい。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	問題データベースは、授業の中で練習のためや定着を図るための宿題等で活用する。また、朝の学習で、前学年までの復習の際にも活用する。	B	○各学年とも授業での練習や朝の学習、宿題などで活用している。（70%） ○文章を書く能力の向上や問題になれるため、高学年はより活用していく。
①	現学年までの漢字の読み書きを、朝の学習・宿題・授業の始まりなどで繰り返し取り組む。	A	○前学年までの漢字の読み書きや四則計算など基礎基本問題、過去問題（A問題）を朝の学習や宿題、授業の始まりなどで繰り返し取り組む（90パーセント以上）
②	各教科の重要語句の読み・書き・意味理解の取り組みに加え、それらを使っての説明も取り入れていく。	B	○各教科の要語句の読み書き・意味理解の定着を図る。（80パーセント） ○授業などで、重要語句を使って説明する活動を増やしていく。
③	文章を書く能力・長文読解能力の向上を図るため、授業ではノートに自分の考えをまとめる。また、データベース等を使って練習を行う。高学年では、過去問題にも取り組む。	A	○授業の中で「わかったこと」や「まとめ」など自分の言葉でノートにまとめる活動を進める。その際、重要語句や文字数など条件を取り入れて書くようにする。また、過去問を使って練習する。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			